



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ガバナー月信
Vol. 11

To Club Presidents and Secretaries in District 2790(CHIBA)



四宮R | 理事エレクト賞 受賞写真 (撮影者: 池田勝之氏 (千葉RC))

国際ロータリー第2790地区
ガバナー 時田 清次

地区スローガン **Grow Rotary : 自分もクラブも成長しよう**
ロータリー特別月間 / 青少年奉仕月間

5

2026
May



「青少年奉仕」について

2025-26 年度 国際ロータリー第 2790 地区
ガバナー 時田 清次 (市原中央 RC)

会長・幹事の皆様へ

今月は「青少年奉仕月間」です。

青少年奉仕には大きく「青少年交換」「インターアクト」「RYLA」があります。それぞれ、ロータリーが誇れる素晴らしいプログラムだと思っています。

ロータリー青少年交換 (Rotary Youth Exchange) は、高校生の交換留学を行っています。原則として交換留学 (派遣した地区から受け入れる) 制度を採っているこのプログラムは 1929 年にはじまり、現在では他国の文化を経験するために毎年約 9000 人もの生徒が世界中で留学しています。このプログラムの良いところは、ロータリアンのご子息が参加できることです。会員増強で若いロータリアンを求めていますので、勧誘の一つとしてご子息がプログラムへ参加できることをアピールするのもよいと思います。

次にインターアクトクラブでは、高校生が、地元でのボランティア活動や海外のインターアクト会員 (通称「インターアクター」) との交流を通じて視野を広げ、国際感覚を養っています。

1960 年トーマス RI 会長は青少年が地域社会に対して積極的に関心を持つよう促し、リーダーとして成長する機会を提供するため、1962 年、米国メルボルン高校で最初のインターアクトクラブが設立されました。

日本においては、1963 年 6 月 27 日に仙台育英学園高校で結成され、千葉は 1963 年 11 月に成田高校で結成されました。現在 13 のインターアクトクラブがあります。インターアクトクラブでは国際理解を深めるため台湾で海外研修を行っています。

今までは、日本から台湾に行くことが多かったのですが、寒郡ガバナー年度に友好地区となった第 3522 地区とのインターアクトクラブの国際交流は相互訪問をしようとのことで、今年度は台湾からインターアクターが来日し、ローターアクターの協力を得て素晴らしい研修ができました。

次にリーダーシップを発揮したい、自分の可能性を広げたい、世界を変えたい……。

そんな考えを実現するための第一歩となるのが、「ロータリー青少年指導者養成プログラム (RYLA)」です。ロータリークラブまたは地区が実施するこのプログラムで、若い人たちが新しい友人をつくり、楽しみながらリーダーシップのスキルを磨いています。RYLA セミナーの歴史は、1971 年に RI によって正式に青少年育成の常設プログラムとして採用されました。日本では、1970 年代に企業研修で「歩行ラリー」を採用する企業が多くあり、これを青少年育成向けに活用することを推進しました。

第 2790 地区では現在第 49 回の RYLA セミナーなので、1977 年頃の開始と思われます。

他地区ではいろいろな研修を行っていますが、第 2790 地区は最初から「歩行ラリー」を継続しています。

第 49 回 RYLA は「先入観・思い込み・既成概念を取り払い真実とは何かを見つけよう。」のテーマで 2 月 22 日岩井海岸にて実施されました。

私は RYLA セミナーに研修生として参加させていただきましたが、最初出会って間もないよそよそしさが 2 日間一緒に目的をもって行動することで、友情を育み信頼関係を気付くことに感動しました。

また、この経験は会社・学校に帰ってもリーダーシップという能力を発揮すると確信しています。このように青少年プログラムには歴史があり素晴らしいものです。また、ロータリアンだからこそ参加できます。ぜひとも活用してもらいたいと思います。

●ご意見をお寄せください。

国際ロータリー
第 2790 地区へのご意見箱
QR コード→



青少年奉仕月間を迎えて 青少年プロジェクト統括委員会 統括委員長 田村 隆治 (八千代 RC)

RIでは、毎年5月を青少年奉仕月間とし、青少年に関連するプロジェクトを推進しています。当地区では、インターアクトや青少年交換、RYLA（ロータリー青少年指導者養成プログラム）など、青少年の成長と社会貢献、国際理解を目的とした活動を行っております。ロータリーが大切にしている青少年奉仕について、その意義と具体的な取り組みをご紹介します。ロータリーは長い歴史の中で、次世代を担う若者を育成することを使命の一つとし、プログラムを通じて地域社会と世界の架け橋となる人材を輩出してきました。青少年を支え、課題を共有し、道を切り開く機会を与えることは、ロータリーの未来を切り拓く重要な活動です。

まず、インターアクトクラブについてご説明します。当地区のインターアクトクラブは高校生の組織で、提唱ロータリークラブのご支援のもと、ボランティア活動や社会奉仕活動に積極的に取り組んでいます。これらの活動を通じて、リーダーシップやコミュニケーション能力、協調性を養うことができ、実社会で役立つ経験を積むことができます。学生たちは自ら企画し行動することで、社会的責任感や思いやりの心を育てる場となっています。

次に、青少年交換プログラムについてです。ロータリーの青少年交換は、世界中の若者が異文化交流を体験できる国際的な事業で、毎年多くの学生が海外へ派遣され、同時に海外からの学生を受け入れております。現地の学校や家庭で生活しながら文化を学んでいます。派

遣側受入側の双方が、異文化理解の促進やグローバルな視野の拡大に大きく貢献し地域全体で国際交流を支える貴重な機会となっています。青少年交換に参加した学生たちは、国際社会で通用するコミュニケーション能力や適応力を身につけることができるため、将来のリーダーとして成長するきっかけとなっています。

さらに、RYLAです。RYLAは若者のリーダーシップ育成を目的とした研修プログラムであり、当地区では毎年歩行ラリーを開催しています。参加者同士の交流を通じて、多様な価値観に触れ、視野を広げることができるのが特徴です。参加者は自己の成長にとどまらず、地域社会での活動にも積極的に関わるようになるため、社会貢献の意識が高まります。これらの経験を通じて、若者は自信を持ち、自らの可能性を追求する力を身につけます。

現代社会では、青少年が直面する課題も多様化しており、精神的な不安や社会的環境の変化など、さまざまな問題が存在します。だからこそ、ロータリーが提供する青少年プログラムは単なる活動の場ではなく、それぞれが一体となって歩みを進めることで、持続可能な社会の実現につながると考えます。

ロータリーは、地域の未来と世界の未来を担う若者たちに希望と可能性を与え、社会全体に活力と持続可能な発展への道筋を示しています。今後も、青少年の成長を支え、ロータリーの理念が社会に根付くよう、皆様とともに歩み続けてまいります。

ガバナーノミニー・デジグネート（2028-29年度ガバナー）の公表



平塚 新兵衛
(佐原 RC)

【経歴】

氏名 平塚 新兵衛 (ひらつか しんべい)
 生年月日 1961年(昭和36年)6月10日
 最終学歴 明治大学文学部
 事業所 合資会社福新呉服店
 事業所住所 〒287-0003
 香取市佐原イ 547-1
 事業所電話 0478-52-3030
 所属クラブ 佐原ロータリークラブ
 職業分類 呉服小売

【ロータリー歴】

2010.05月 佐原ロータリークラブ入会
 2015-16年度 クラブ幹事
 2021-22年度 クラブ会場監督
 2022-23年度 ガバナー補佐幹事
 2023-24年度 クラブ会長
 2024-25年度 地区理念委員会 委員
 2025-26年度 地区理念委員会 委員長

【ロータリー認証】

ポール・ハリス・フェロー
 米山功労者

【職歴】

1986年～ 合資会社福新呉服店
 1996年～ 有限会社アイシーエス

【公職歴】

2021年 公益社団法人佐原法人会理事
 2025年～ 香取警察署協議会会長
 2025年～ 一般社団法人水郷佐原観光協会会長

【賞罰】

なし

第 11 グループ インターシティーミーティング報告 第 11 グループ ガバナー補佐 金本 元章 (柏西 RC)

2026年2月20日(金)、第11グループのインターシティーミーティングをザ・クレストホテル柏において、6クラブより計140名の参加を得て開催いたしました。

各クラブの交流と学びを深めるとともに、時代の変化の中でロータリーの理念を再確認し、新しい世代や新しい考え方を受け入れクラブの進化を考えることを目的に開催いたしました。

<第一部> 基調講演

テーマ：ロータリーとの向き合い方「変えていけないもの」と「変えていくもの」をテーマに鶴沢和広パストガバナーに講演をいただきました。

冒頭では、親睦と学びの場である例会に必ず出席し、寛容な心でロータリーの志を共にするもの同士の仲間意識の熟成に努め、ロータリーの歴史や伝統、価値や奉仕理念を学び、職業観や人生感を深めるとともに奉仕の意欲を高め、奉仕の心を磨き、自己と仲間の成長に励みながら、クラブ、事業、業界、地域、社会向上発展に貢献する高潔ロータリアンをめざすための覚悟と情熱を持つ。どうか、皆さんも素晴らしいロータリアンへの道を目指して親睦と学びを深めて行ってください。最後に、学びを行動へと転換し、組織の強さに繋げることが重要ということで、締めくくりました。

<第二部> 落語

落語家の参遊亭遊助師匠による「米山梅吉」物語を

拝聴し、単に日本のロータリー創設者というだけでなく、「人と人の信頼こそが社会をよくする」という信念を持った人物であったことを、今日の語りの中から強く感じました。落語という語りの文化を通して聞くと「米山梅吉氏」のことがよく分かったという多くの声を頂きました。

今回のインターシティーミーティングに参加協力頂きました、第11グループ会長・幹事そして会員の皆様にご場をお借りして感謝申し上げます。



鶴沢和広パストガバナーご講演



落語 参遊亭遊助師匠



第 11 グループ集合写真

第 14 グループ インターシティーミーティング報告 第 14 グループ ガバナー補佐 岡安 誠人 (野田 RC)

「ロータリーを楽しもう ロータリーのここが好き」

2月21日(土)、14時開会点鐘から18時中締めまで4時間開催。先ずはその年のガバナー補佐が考えた催しを、次に会長エレクトが次年度への抱負を語る、最後に懇親会で締める。ここ10数年第14グループはこの形でインターシティーミーティング(IM)を開催してきました。本年度もこれを踏襲、「ロータリーを楽しむ」をテーマにIM並びに合同例会を開催致しました。

IMの大切な目的は会員相互の親睦と知識を広めることにあります。そこで第一部は、ロータリーの友編集長野崎恭子氏に卓話をお願いしました。氏と第2790地区理念委員会考案のプログラムでディスカッション。このプログラムは例え相手が異なるクラブの初めて会ったベテランメンバーであっても気後れすることなく楽しくディスカッションできて親睦を深め知識を広めることができる優れたものです。題して「ロータリーあるある相談室 14G イチヨンジー」は想像以上に盛り上

がりました。第二部は第14グループ4クラブの会長エレクトにロータリーへの思いをたっぷり語って戴きました。テーマは「ロータリーを楽しもう ロータリーのここが好き」です。4エレクトお疲れ様でした。

そして異なるクラブの会員同士が交流し友好関係を築くための仕上げとして懇親会を開催。友情の輪を広げてロータリーを楽しんで戴いたわけです。第14グループは本年1月から1クラブ減って4クラブ体制となりましたが一層合力して第2790地区において存在感を放ちたいと存念します。



第9グループ インターシティミーティング報告 第9グループ ガバナー補佐 前田 泰弘 (小見川 RC)

本年は、地元香取に鎮座される香取神宮（御祭神一経津主大神）の12年に一度、午年に開催される式年大祭、並びに神幸祭の年にあたる（4月15・16日に挙行）こともあり、神宮の教化部長である雪松直様を講師として迎え、去る2月28日に神宮の神徳館にて4クラブ総勢43名の参加の中、普段余り聞くことのない「香取神宮式年大祭・神幸祭」の縁起や歴史に付いてのご講演をいただいたところです。

- 一. 神幸祭の「神幸」とは「みゆき」と読み、神のいでましの儀で神幸祭はその祭典の事
 - 一. 起源は不詳であるが中世以降、多くの社でなされるようになった事
 - 一. 神社固有の由緒と故事を伝える事が多く、香取神宮の場合、経津主大神が東国を平定した時の様子を模したものと言われている事
- 等々を分かり易く解説いただき、会員各位も興味深げに熱心に聞き入り、時間の経過も早く感じられたようです。

後半は席を移し参加していただいた会員同士、講演

内容も含め暫し歓談をいただいたところです。

2025-26年度のクラブ活動も残すところ、僅かとなりましたが、有終の美を飾れるよう祈念し最後まで頑張りたいと存じます。

ご参加いただきました各クラブ会長・幹事、会員の皆様、更には会場をご提供頂いた香取神宮並びに講演頂いた雪松様に改めて御礼を申し上げまして報告とさせていただきます。



第12グループ インターシティミーティング報告 第12グループ ガバナー補佐 杉山 智基 (八千代 RC)

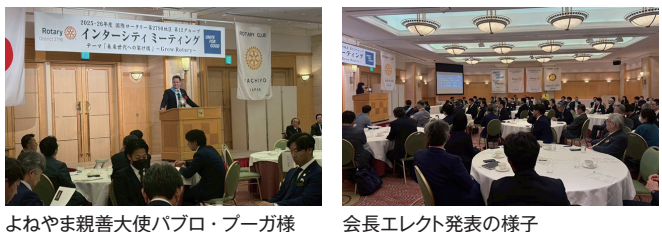
第12グループのインターシティミーティング（IM）は、2026年3月7日（土）にウイシュトンホテルユーカリにて開催しました。グループ内の7クラブの会長・幹事を始め約100名の登録を頂きました。ご来賓としてパストガバナー崎山征雄様（習志野中央 RC）、パストガバナー橋岡久太郎様（佐倉中央 RC）、講師としてよねやま親善大使のパブロープーガ様（東京広尾 RC）にご出席賜りました。また、パブロープーガ様の奥様の大館幸代様（イークラブ・ワン・クアラルンプール）、地区行動計画推進委員会委員 嶋野壱平様（流山 RC）にもご出席頂きました。

第1部はパブロープーガ様による「多文化共生とロータリーの未来」というテーマで基調講演を頂きました。米山奨学生として日本での留学経験やご自身で起業された経験、そして、ロータリアンとして活動して感じたロータリークラブの事業や人との出会いの素晴らしさをご自身の経験をもとにお話し頂きました。

また、第2部として7クラブの会長エレクトより、会長エレクトとしての方針や抱負を力強く発表して頂き、会場からは大きな声援が送られました。それぞれの会長エレクトが個

性豊かにご自身のクラブを分析され、将来像を描きながら自分の会長年度に果たすべき役割等を発表されました。

懇親会では、参加者の皆様がクラブの垣根を越えて懇親と友情を深めることが出来、大変有意義なIMだったと思います。ご参加下さいました皆様に心より感謝申し上げ、ご報告とさせていただきます。



集合写真

第8グループ インターシティーミーティング報告 第8グループ ガバナー補佐 北川 幸靖 (旭 RC)

2026年3月15日(日) 13時30分よりホテルサンモールに於いて、第8グループのインターシティーミーティング(IM)を4クラブ60名の参加をいただき開催いたしました。

IMの最大の目的は、グループ内の交流、そして親睦を深めること、更にロータリーの情報を共有する場と捉え、それらを強く意識して開催いたしました。

講演は、旭市出身で現在も旭市在住の東京大学名誉教授 小林富雄先生にお願い致しました。素粒子物理学が専門の小林先生より「宇宙と生命の誕生」というタイトルで、素粒子の観点から見た宇宙、そして生命の誕生までの貴重なお話しをいただきました。

その後、伊藤達裕直前ガバナー補佐(八日市場 RC)への感謝状と記念品贈呈、上総泰茂次年度ガバナー補佐(銚子 RC)より次期を担う各クラブ会長・幹事の紹介がありました。

第2部の懇親会では、最近音楽活動にも力を入れていらっしゃる小林富雄先生と音楽仲間とでピアニスト・アレン

ジャーの須藤信一郎様によるミニコンサートをお願いし、懇親会を大いに盛り上げていただきました。

終始和やかで笑顔あふれる雰囲気の中、第8グループの交流が図られ、これからのロータリー活動の糧になるIMになったと確信しております。

最後になりましたが、講師を快く引き受けいただきました小林富雄先生、須藤信一郎様、第8グループ会員の皆様、そしてこのIMをホストクラブとして準備をしてくださりました旭ロータリークラブ会員の皆様に感謝と御礼を申し上げます。



ロータリーソング「奉仕の理想」斉唱



伊藤直前ガバナー補佐へ感謝状贈呈



小林富雄先生講演



北川幸靖ガバナー補佐挨拶



上総次年度ガバナー補佐と会長幹事の皆様



懇親会でのミニコンサート



懇親会風景

柏東ロータリークラブ創立50周年記念式典および祝賀会開催 柏東ロータリークラブ 会長 酒巻 秀明

当クラブ創立50周年に当たり、2026年2月23日にハート柏迎賓館にて行いました。当日は、柏市長はじめ、地区より時田清次ガバナーはじめ、パストガバナー、11グループより金本元章ガバナー補佐、補佐幹事、各クラブ会長、幹事、そして、他クラブの多くのロータリアンの皆様や、関係者の皆様に、参加をいただきました。当クラブは、1976年(昭和51年)2月23日に、我孫子ロータリークラブをスポンサークラブとして、RI認証を頂きました。

この2月の23日というのは皆様もご存知のように、ロータリーが1905年に誕生した日と一緒です。当クラブは、認証日が一緒という事で大変嬉しい限りです。当初、沼南ロータリークラブとして発足し、柏市との合併に伴い、2011年7月に現在の柏東ロータリークラブに改名を致しました。創立50周年を迎える節目にあたり、当クラブの運営に際しご指導を頂いた地区

及び地区のロータリアンの皆様、スポンサークラブの我孫子ロータリークラブ、並びに関係者の皆様には、心より感謝申し上げます。式典では、ロータリー財団、米山記念奨学会、及び当クラブが支援をしている柏市フットサル協会、スリランカ国、柏東ロータリー文庫に特別寄付を行いました。50年という歳月は、奉仕の理想を掲げ、半世紀にわたる先輩ロータリアンの活動があったからこそ、迎えることができました。ロータリークラブは、これまで以上のスピードで変化をしています。

この節目を迎えるにあたり、新たな出発点として、先輩方が築いた信頼と絆を今後も受け継ぎ、新しい変化も取り込みながら、次世代に誇れるクラブを創り上げていくことが、現在の会員の役割と考え、未来への決意を新たにしたいと思っております。



太田和美柏市長への目録贈呈の様子



銭太鼓の様子



集合写真

市川シビックロータリークラブ創立35周年記念式典報告 市川シビックロータリークラブ 会長 佐藤 康夫

国際ロータリー第2790地区市川シビックロータリークラブは、2026年3月2日(月)、市川グランドホテルにて創立35周年記念式典を開催しました。当日は、時田清次ガバナー、関口徳雄パストガバナー、田中甲市川市長をはじめ来賓の方々及び多くのロータリアンに参加いただき約80名で創立35周年を祝うことができました。創立30周年はコロナ禍であったため、式典はやむを得ず中止し、10年ぶりの式典となりましたが、会場は終始和やかな雰囲気の中楽しんで時間を過ごすことができました。

式典の目玉である講演は、市川市市制施行90周年を記念して、三田文学界とともに創設されました「永井荷風文学賞」の第1回受賞者の東京大学名誉教授田中純氏をお迎えして、対話方式で講演をしていただきました。今回の受賞作品である「磯崎新論」の内容及び創作の苦勞等について興味あるお話をお聞きすることができました。

記念事業としては昨年8月に小学生ハンドボールについて第1回市川シビックロータリークラブ杯を創設

し、優勝カップの授与等の後援を行いました。

多くの皆様のご協力とご支援により、本式典を盛況のうちに終えることができましたことを、こころより感謝申し上げます。



会長挨拶



記念講演会



市川シビックロータリークラブ35周年記念式典参加会員

創立50周年を迎えて 白井ロータリークラブ 会長 畠山 泰哲

私ども白井RCは昭和51年1月25日に印西RCをスポンサークラブとして25名で白井の地に誕生しました。

以来50年、2026年1月をもって創立50周年を迎える事が出来ました。3月5日にホテルマイステイズプレミア成田にて創立記念式典を挙行し、記念事業と致しまして市内の小中学校14校に対してスポーツ TENT を寄贈することといたしました。

更に当クラブは昨年の12月5日に念願でした姉妹クラブの締結をグアムにあるタモンベイロータリークラブとさせて頂きました。タモンベイロータリークラブは会員数75名の大所帯ですが好意持って締結いたしました。締結式の後にはグアム島周辺の島々に空からクリスマスプレゼントを投下する、クリスマスドロップと称するイベントに参加をさせて頂き170ケースのうちで5ケースを白井RCで参加協力しました。本事業には財団の地区補助金を活用いたしましたことをご報告申し上げます。

次年度は当クラブよりロータリーポリオプラス委員長1名と財団資金管理・寄付推進委員1名がノミネートされており、ポリオの活動としましては全会員がポリオプラスソサエティの有資格を予定しており、寄付行為については白井市ふるさと祭りの会場で寄付を募るイベントを全会員で取り組んでおります。また、次年度は米山奨学生

の受け入れが決まっております。

白井RCは近い内に会員数を25名規模のクラブに増強すべく若手会員が一丸となって取り組んでおり、若手会員の英知の結集でさらなる繁栄を願っています。



平川進実行委員長挨拶



タモンベイRCから御祝いの盾



白井RC・タモンベイRC・そのご家族との集合写真

成田ロータリークラブ創立 65 周年記念式典報告 成田ロータリークラブ 会長 諸岡 正徳

成田ロータリークラブは本年 3 月 16 日を以て創立 65 周年を迎えました。

3 月 13 日の記念式典に際しては、ご多忙の中、国際ロータリー第 2790 地区ガバナー時田清次様、成田市長小泉一成様、酒々井町町長金塚学様、衆議院議員小池正昭様、前衆議院議員谷田川元様、成田ライオンズクラブ会長唐木康敏様を始め、第 10 グループ内各クラブ会長、幹事様、並びにご来賓の皆様にご臨席を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

私たち成田ロータリークラブは、1961 年 3 月 16 日に創立され、65 年という輝かしい節目を迎えることができました。この長い歩みを支えてくださったのは、先輩会員の熱い情熱と献身的な奉仕、そして地域の皆様の温かいご支援のおかげでございます。心より敬意と感謝を申し上げます。

ロータリーの創設以来、私たちは奉仕の理念のもと、地域社会への奉仕、青少年の育成、国際理解と平和の推進、そして世界からのポリオ撲滅に力を注いでまいりました。特に、この 65 年の歴史は、私たちの誇りであり、地域と共に築いてきた信頼と絆の証であります。

この節目にあたり、私たちは次の未来を見

据え、ロータリーの理念をさらに発展させ、次世代へと繋いでいく決意しております。

皆様と共に、地域の発展、国際協力、そしてより良い未来を築くため、私たちは一層精進してまいります。

第二部ではチャリティーオークションを開催致し、多くのご来賓、そして当クラブ会員のご厚意により、当初の予定金額を大幅に超える寄付金を獲得させて頂きました。

寄付金は全てポリオプラス委員会、成田市、酒々井町の各社会福祉協議会へ寄付致します。

皆様へ心から厚く御礼申し上げます。



諸岡正徳会長 挨拶



集合写真



記念式典の様子



記念式典の様子



女性会員集合写真

千葉西ロータリークラブ創立 50 周年記念式典報告 (3/14) 千葉西ロータリークラブ 会長 今野 文明

創立 50 周年という半世紀の年輪を重ね多くの皆様方にご来場を賜り、盛大に記念式典を挙げることに会員一同心より感謝を申し上げます。

創立 50 周年のクラブテーマ

～感謝 50 周年～ 歴史と『浪漫』そして『未来』への挑戦

創立 50 周年記念事業として、三つの青少年健全育成事業を行います。

この三つの育成事業を通じて、青少年に「夢と希望を与え」そして、千葉西ロータリークラブとして『浪漫』を追求する一年にしたいという思いで、本年度をスタートさせて頂きました。一つ目の昨年 12 月 21 日に開催した「仲間と紡ぐこどもたちの夢ジョイントコンサート」は、総勢 175 名の子供達の全力の演奏会でした。二つ目は、当クラブ 10 周年記念事業、既に 40 年間に渡る長年の実績を誇る「公益信託千葉西ロータリークラブ青少年育英基金」の更なる拡充です。三つ目も継続事業となる「社会福祉法

人千葉いのちの電話」を通して、未来を担う若者の自死防止への地道な支援活動の更なる充実です。

この三つの記念事業以外にも、両姉妹クラブと「書画交流事業」「ホームステイ子弟交流事業」「共同 WCS 事業」また、JR 稲毛駅東口における「ふれあい花壇」の植栽と管理、「アジアふれ愛基金」の募金活動等、そして千葉商業高等学校「インターアクトクラブ」若きリーダーと共に理解を深めています。この創立 50 周年記念事業のコンセプトは、『未来』への挑戦です。

「青少年育成に特化した次世代に向けた貢献を目指すクラブに進化」させるべく、地域に根差した奉仕活動を通じて、更なる発展に務めて参りたいと考えています。



姉妹三クラブの小学生書画交流事業に長年の功績に対して千葉市立検見川小学校へ感謝状の授与



海寶勳一 50 周年記念事業式典祝賀推進委員長を囲んで



台湾高雄北区 RC・韓国釜山鎮 RC・千葉西 RC 姉妹三クラブ 集合写真

RYLA セミナー報告

RYLA 委員会 委員長 浅野 賢一 (千葉若潮 RC)

RYLA とは、ロータリー青少年指導者養成プログラムのことです。

Rotary Youth Leadership Awards の頭文字を取り、RYLA となりました。

RYLA は、ロータリークラブの1つのプログラムであり、14 歳から 30 歳の、将来指導者になる資質を持った若者たちに、スキルと人格を養いながら、「奉仕・道徳・平和・感謝」といった、ロータリーの価値観を学ぶ機会を提供することを目的としています。

RYLA を通じて、地域社会の若者がリーダーや良き市民としての資質を養い、人間として成長することができます。

当第 2790 地区では、長年にわたり「歩行ラリー」を教材として、参加者達（若者・ロータリアン）が寝食を共にし、共に議論して、共に検証するといった、一連の流れの中で、若者は様々な職業人であるロータ

リアン達と語り合う事で、人間の幅を広げまたリーダーシップに必要な想像力を養っていきます。「歩行ラリー」を通じて、参加者に「先入観・思い込み・既成概念」などから起こる間違いに気づき、「真実は何か」を考える機会を与えるものです。また、同じ目標の下で参加した初めて会った人達の中から仲間も増やすことも出来ます。「リーダーシップを発揮したい・自分の可能性を広げたい・世界を変えたい」そんな考えを実現する為の第一歩となるのが RYLA です。

交換留学生も多数参加されていますので、ぜひ交流を深め、相互理解と親睦の場となることを期待します。



「Chiba RC/Chiba Connect RSC 3x3 Cup」開催 初の主催事業としての3x3大会 千葉コネクトローター衛星クラブ 議長 池田勝之

2026年3月15日(日)、TIPSTAR DOME CHIBAにおいて「Chiba RC / Chiba Connect RSC 3x3 Cup」を開催いたしました。

本事業は、千葉ロータリークラブ (RC)と千葉コネクトローター衛星クラブ (RSC) の主催による青少年奉仕事業であり、同時開催の千葉県アーバンスポーツフェスタと連動して約 280 名を集客して実施されました。

本大会は、両クラブがそれぞれの強みを持ち寄り、協働による新たな奉仕モデルを模索した事業です。千葉 RC の歴史と信用・組織力を基盤に、千葉コネクト RSC の多国籍・多世代による機動力と柔軟性を融合させ、地域社会に対する実効性の高い奉仕活動の実現を目指しました。

当日は U12 男女 24 チームが参加し、予選リーグから決勝トーナメントまで熱戦が繰り広げられ、子どもたちは仲間と声を掛け合いながら真剣にプレーし、会

場は大きな歓声と笑顔に包まれました。

プロ選手との交流に加え、BMX 日本代表およびスケートボード日本代表によるデモンストレーションも行われ、子どもたちにとって大きな刺激となりました。

チャリーディングが大会に華やかさを添え、DJ と MC が一体感のある演出で会場を盛り上げました。さらに、クラブメンバー夜桜真里亜さんによるミニコンサートも実施され、スポーツと文化が融合した充実のプログラムとなりました。

会場では初披露の千葉 RC 所有のキッチンカーによる来場者サービスとロータリー活動の PR を行うとともに、地区ロータリーポリオプラス委員会のご協力のもと募金活動を実施しました。本大会にはマスコミ各社の取材も入り、地域社会に対する事業の意義やロータリーの取り組みを広く発信する機会となりました。

また、医療サポート体制を整備して、参加者の安全確保にも万全を期した運営を行いました。

開催にあたり、後援団体ならびに協賛各社、関係団体の皆様のご支援に心より感謝申し上げます。本大会は、創立 75 周年を迎えた千葉 RC にとっても象徴的な青少年奉仕事業となり、両クラブの協働は今後のロータリーの可能性を示す実践例となったと思います。



開催報告



大会会長あいさつ
千葉 RC 青柳俊一 会長



大会実行委員長あいさつ
千葉コネクト RSC 池田勝之 議長



医療サポートあいさつ
藤澤武彦先生 (千葉 RC)



BMX の日本代表デモ



会場を盛り上げた DJ



プロ選手との交流会

スケートボードの日本代表デモ



メンバーによる会場設営



初披露した千葉 RC キッチンカー



白熱した試合



夜桜真里亜ミニライブ
(千葉コネクト RSC)



会場を盛り上げた DJ



マスコミの取材



チャリーディングが華を添えた



地区ロータリーポリオプラス委員会

ガバナー公式訪問クラブ紹介

千葉若潮ロータリークラブ

1/29

会長 北原賢一



当クラブは1999年創立の第3グループ内で最も若いクラブです。ゴルフ同好会が非常に活発で、会員間の親睦のみならず他クラブとの交流、会員増強の面でも中心的な役割を果たしています。一昨年、25周年を迎える年度にガバナーを輩出し、これをきっかけとしてクラブがより一丸となったように思います。ローターアクト(千葉マリン)との交流をより活発化し、30周年に向けてますます元気なクラブとなっていければと思います。

寄付者紹介 (敬称略)

ロータリー財団寄付

マルチプル・ボール・ハリス・フェロー

新ボール・ハリス・フェロー



斎藤 昌雄
(千葉南 RC)
14回



大川 裕士
(君津 RC)
5回



高橋 豊
(千葉南 RC)



鈴木 荘一
(君津 RC)
9回



大川 裕士
(君津 RC)
1回



片岡 達生
(柏南 RC)
1回



高橋 薫
(柏南 RC)
1回

新ロータリアン (敬称略)



小松 弥生
(成田コスモポリタン RC)
生花販売
2025年11月12日



中嶋 利生
(柏西 RC)
小売業
2月27日



大塚 太輔
(新千葉 RC)
管工事
3月4日
読書・ゴルフ



新井 真一
(新千葉 RC)
ゴルフ関連事業
3月4日
ゴルフ



石川 善昭
(銚子 RC)
教育
3月4日



越川 和久
(成田コスモポリタン RC)
児童養護施設
3月4日



辰巳 太兵衛
(千葉南 RC)
経営コンサルタント業
3月6日

2027年ロータリー国際大会の開催地としてバルセロナが選ばれる

バルセロナ(スペイン)が、2027年ロータリー国際大会の開催地として新たに選ばれ、2027年6月26日～30日にフィラ・デ・バルセロナで開催されることが決まりました。RI理事会のこの決定により、3月に発表された当初の開催年よりも2年早く、バルセロナに世界のロータリー会員が結集することになります。

2027年国際大会は当初、ドバイ(アラブ首長国連邦)での開催が予定されていましたが、中東地域における情勢不安と旅行面での不確実性によりドバイでの開催が困難となり、後年に延期されることとなりました。

世界有数の国際会議場があるバルセロナは、2002年にもロータリー国際大会が開催されており、多くの国から航空便でアクセスしやすい都市です。

「スケジュールの前倒しにもかかわらず、バルセロナ市の担当者とロータリー会員が柔軟に対応してくださったことに深く感謝しています」と、フランチェスコ・アレツォ国際ロータリー会長は述べています。

アレツォ会長はまた、ドバイでの国際大会開催に向けたアラブ首長国連邦のロータリー会員とリーダーの尽力に感謝を表明し、「将来にドバイで国際大会を開催できることを期待しています」と述べています。

バルセロナでの2027年ロータリー国際大会への登録は、2026年9月に開始される予定です。

国際ロータリー第2790地区(千葉)例会出席率・会員数報告(2026年2月末分)

グループ	クラブ名	出席率 (%)	例会数	会員数					2025 7/1との 増減
				男性	女性	その他	合計		
第1グループ	市川川	100.00	2	33	6	0	39	2	
	市川東	100.00	2	28	3	0	31	△1	
	市川南	79.40	3	21	2	0	23	0	
	浦安	88.90	2	24	2	0	26	2	
	市川シビック (会員数は市川シビックRSC含む)	70.40	3	30	0	0	30	0	
	浦安ベイ 平均	44.43 80.52	3 2.50	9 24.17	3 2.67	0 0.00	12 26.83	0 3	
第2グループ	船橋	86.67	2	31	0	0	31	2	
	船橋西	81.98	2	17	5	0	22	△2	
	鎌ヶ谷	65.92	4	23	0	0	23	0	
	船橋東	87.99	3	16	2	0	18	△1	
	船橋南	91.67	3	8	2	0	10	0	
	船橋みなと 平均	91.63 84.31	3 2.83	11 17.67	2 1.83	0 0.00	13 19.50	0 △1	
第3グループ	千葉 (会員数は千葉コネクTRSC含む)	73.81	3	126	4	0	130	15	
	新千葉	52.23	3	58	0	0	58	0	
	千葉西	76.28	3	39	7	0	46	2	
	千葉中央	68.00	3	25	3	0	28	5	
	千葉幕張	88.54	3	27	5	0	32	2	
	千葉東	74.05	2	21	3	0	24	1	
	千葉若潮	61.29	2	33	2	0	35	△1	
	平均	70.60	2.71	47.00	3.43	0.00	50.43	24	
第4グループ	千葉南	85.96	3	53	4	0	57	2	
	市原	48.02	2	85	5	0	90	1	
	千葉港	71.43	2	26	4	0	30	△1	
	市原中央	92.23	4	28	1	0	29	△2	
	千葉北	51.04	3	28	4	0	32	4	
	千葉緑 平均	74.24 70.49	2 2.67	23 40.50	2 3.33	0 0.00	25 43.83	△1 3	
第5グループ	木更津	73.73	3	22	5	0	27	4	
	上総	61.54	2	13	1	0	14	△2	
	富津中央	62.52	3	35	7	0	42	4	
	木更津東	76.41	3	38	6	0	44	△1	
	君津	76.09	2	40	6	0	46	△8	
	袖ヶ浦 富津シティ 平均	68.89 47.00 66.60	3 2 2.57	21 14 26.14	3 2 4.29	0 0 0.00	24 16 30.43	2 1 0	
第6グループ	館山	66.37	3	45	5	0	50	2	
	鴨川	76.61	4	27	2	0	29	1	
	勝浦	85.86	2	36	3	0	39	0	
	千倉	66.67	1	3	3	0	6	0	
	鋸南	85.30	2	11	2	0	13	0	
	館山ベイ 平均	53.84 72.44	3 2.50	27 24.83	0 2.50	0 0.00	27 27.33	0 3	
第7グループ	茂原	70.19	3	48	9	0	57	1	
	東金	71.80	2	31	3	0	34	7	
	大原	87.50	4	9	1	0	10	0	
	大多喜	72.44	3	10	3	0	13	2	
	成田空港南	57.10	3	19	0	0	19	2	
	茂原中央	71.78	4	28	2	0	30	0	
	大網 東金ビュー 平均	82.00 83.30 74.51	2 2 2.88	22 11 22.25	3 1 2.75	0 0 0.00	25 12 25.00	△2 3 13	
第8グループ	銚子	73.46	3	31	3	0	34	0	
	旭	63.80	2	35	3	0	38	1	
	八日市場	63.56	3	31	3	0	34	0	
	銚子東 平均	79.01 69.96	3 2.75	25 30.50	3 3.00	0 0.00	28 33.50	0 1	

グループ	クラブ名	出席率 (%)	例会数	会員数					2025 7/1との 増減
				男性	女性	その他	合計		
第9グループ	佐原	77.53	3	41	0	0	41	0	
	多古	60.00	3	17	0	0	17	0	
	小見川	80.83	3	23	1	0	24	0	
	佐原香取	86.84	3	23	1	0	24	1	
	平均	76.30	3.00	26.00	0.50	0.00	26.50	1	
第10グループ	成田	65.36	4	57	14	0	71	1	
	八街	70.37	2	24	3	0	27	4	
	印西	60.00	2	6	0	0	6	0	
	白井	88.64	2	12	1	0	13	0	
	富里 (会員数は富里グローバルRSC含む) 成田コスモポリタン 平均	60.64 54.89 66.65	3 3 2.67	39 70 34.67	1 4 3.83	0 0 0.00	40 74 38.50	6 3 14	
第11グループ	柏	80.60	2	51	9	0	60	△1	
	我孫子	73.43	3	29	3	0	32	△1	
	柏西	84.26	3	40	7	0	47	0	
	柏東	82.40	4	29	5	0	34	△1	
	柏南	83.33	3	24	4	0	28	1	
	柏中央 平均	51.79 75.97	2 2.83	25 33.00	4 5.33	0 0.00	29 38.33	4 2	
第12グループ	習志野	66.67	3	25	1	0	26	0	
	八千代	83.93	4	54	0	0	54	1	
	佐倉	73.98	3	38	3	0	41	2	
	八千代中央	76.14	2	22	3	0	25	0	
	四街道	58.21	3	22	5	0	27	2	
	習志野中央 佐倉中央 平均	62.33 71.42 70.38	4 3 3.14	42 4 29.57	4 3 2.71	0 0 0.00	46 7 32.29	3 0 8	
第13グループ	松戸	81.17	3	54	2	0	56	5	
	松戸東	91.37	4	40	0	0	40	△1	
	松戸北	67.57	3	31	3	0	34	1	
	松戸中央	78.95	4	27	6	0	33	△3	
	松戸西 平均	75.93 79.00	4 3.60	27 35.80	0 2.20	0 0.00	27 38.00	0 2	
第14グループ	野田	98.27	4	56	5	0	61	1	
	流山	61.33	3	22	3	0	25	3	
	野田東	2025年12月末をもって終結							
	流山中央	81.58	2	16	3	0	19	0	
	野田セントラル 平均	90.48 82.92	3 3.00	20 28.50	1 3.00	0 0.00	21 31.50	1 5	

1	市川シビックローズRSC	0.00	1	10	0	0	10	0
3	千葉コネクTRSC	100.00	2	24	2	0	26	5
10	富里グローバルRSC	55.55	1	10	0	0	10	5
3	千葉マリンRAC	-	-	5	6	0	11	0
4	市原中央RAC	-	-	2	6	0	8	△2
6	鴨川RAC	-	-	2	2	0	4	0
8	千葉科学大学RAC	-	-	12	3	0	15	0
12	習志野中央RAC	-	-	4	2	0	6	0

クラブ数 82RC + 3RSC + 5RAC

2025年7月1日 地区会員数 2,696人
 2026年2月末日 地区会員数 2,758人 (増減62人)
 “ 地区男性会員数 2,490人 (増減49人)
 “ 地区女性会員数 268人 (増減13人)
 “ 地区その他会員数 0人 (増減0人)

当月平均出席率 73.26 %